

うた ひつじの詩だより

2009, 8, 1
毎月発行 No.101
この裏にはご注文の品と
いっしょにお届けします

スウェーデンひつじの詩舎の染め場では、まだまだくるみの染色が続いています。が、このところの雨続きで、くるみの採集作業が滞りがちだそうです。

この季節、くるみ以外に天然の染料は、と尋ねたところ、葛の葉を染めているとのことでした。銅媒染で、柔らかなグリーンに染まります。ワークショップペレのこひつじの子どもたちは、五右衛門風呂のような大きな寸胴の銅鍋で、鍋から出る銅の成分を借りて、しかも、贅沢にまきの火で葛の葉の羊毛染めを体験しました。

「スウェーデンの絵本原書とウォルドルフ人形展」

8月6日(木)～8月27日(木) 10:00～17:00

土日祝日と24日休館 昼休み(12:30～13:30)は確定します。 入場無料

スウェーデン大使館にて 港区六本木(最寄駅:東京メトロ神谷町 または 六本木1丁目)

日本にはまだ紹介されていないスウェーデンの絵本と、ウォルドルフ人形や羊毛の手仕事の展示とワークショップをおこないます。また、実際にウォルドルフ人形に触れて遊べるコーナーも設える予定です。スウェーデンの穏やかで楽しい子どもの世界を、どうぞお楽しみください。

作品展のおしらせ

8月1日(土)～9日(日) (3, 4日は休み) ちいさなえほんや ひだまり

札幌市手稲区新発寒3条4-3-20 TEL: 011-695-2120 担当: 長内洋子

8月20日(木)～22日(土)、27(木)～29(土) 絵本の店・星の子

東京都大田区石川町1-26-8 TEL: 03-3727-8505 担当: 浜田幸子

☆8月21日(金)「指人形のメリーゴーランド」作りのワークショップを行います。

通信講座「ペレの学校」スクーリング

夏休みに入った7月下旬、親子で参加された方を含め30名ほどの受講生が名古屋及び横浜で開催された「ペレの学校」のスクーリングに参加されました。

普段は、「繋ぐー1本の糸から」と題したテーマのもとに配布されるテキストにそって、個々に作品を仕上げています。スクーリングでは初対面の人であって



も、手仕事に興味がある者同士ゆえすぐに打ち解け、楽しいおしゃべりを交えながら、当日の課題である「紐づくりー6つ組や5本編み」に挑戦しました。でき上がった紐をバッグの持ち手に仕上げる人や、ベルトに仕上げる人もいました。ともに手仕事を楽しみ、次の作品作りに取りかかる意欲を持ち帰ることができました。

福井光子(「ペレの学校」主筆)



★スウェーデンひつじの詩舎は、8月9日(日)～16日(日)夏休みをいただきます。よろしくお願いたします。

★第9回東京スピニングパーティーが9月13日(日)と14日(月)、東京都中央区晴海客船ターミナルにて行われます。今年のテーマは「ラブ・タペストリー」!

ぱたぼん通信 ルーマニアの旅

ルーマニアときいて思い浮かぶのはなんですか?わたしにとってのルーマニアは「羊の地平線」「ルーマニアの赤い薔薇」「羊と樅の木の唄」そして「マラムレシユ ルーマニア山村のフォークロア」に描かれた世界でした。その著者である、みやこうせい氏と行くツアーとあれば行くっきゃない!?!と即決。このノリがもうルーマニア的(バルカン半島唯一のラテンの国です)だったと今になって思います。



ルーマニアの世界文化遺産(ブコビナの修道院・マラムレシユ木造教会・トランシルバニア要塞教会・シギショアラ歴史地区)なども見学しつつ、こうせいさんとならではの旅もたのしみました。

足の爪に血豆ができてしまった運転手さんを休ませるべく「今日はあるきましょう!」とでかけた

シゲットの街。暑い中ただひたすらにこうせいさんの後ろをついてゆく私達はハメルンの笛吹きに連れられたねずみのよう。ただしこうせいさんの吹くのは笛でなく“だじゃれ”でしたが・・・。また、ウクライナ人のピバシさんのお宅に伺い、個人の域を超えているコレクションの数々を見せていただく。住まいはさながら“博物館”といえるもので圧倒されてしまう。でもその背景にはアウシュビッツの影があり、ここはヨーロッパ



なんだと思う。サブツァの陽気なお墓と、ユダヤ人墓地の、収容所で作られた石鱈が埋葬されたお墓、すごく対照的なお墓をまえにとてもせつない思いがしました。

トランシルバニア地方のシクとメーラ、ハンガリー人の住む村をたずねお宅訪問をする。これがまったくの突撃訪問。シクのお宅はこうせいさんの古い知人の方でしたが、突然あらわれた私達をツイカ(ブラムから作る蒸留酒・自家製)でもてなし、



刺繍で埋め尽くされたような応接間で手の込んだ民族衣装をみせていただきました。メーラ村は本当に片田舎で荷馬車だけが何台も通りすぎていく中を「お部屋を見せてください」とアタック。お昼寝中のご主人を起こして見せてもらったお部屋もまた素晴らしい!母から娘へ受け継がれてきた、ていねいで確かな手仕事の数々に圧倒されっぱなしの日々でした。

ポイエニで自然にリラックスしていた自分。あの違和感のなさは子どもの頃見ていた景色と同じ!?!だったからでしょう。いま、村はペンションの建築ブームのようであちこちで新築中でした。2007年EUに加盟したこの国は、いま大きな変化の時を迎えているようです。

毎日のルートをマーカーで書き込んでいったルーマニアの地図、走行距離およそ2180km。これを見るたび通りすぎた景色が次々に浮かんで、次のプランなど考える始末。まだまだルーマニア熱は冷めそうにありません。



一橋茂子(静岡県富士宮市在住)

編集担当: 佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
<http://www.s-hitsui.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区瑞が丘16-2
TEL/FAX 045-881-6200,6635
佐々木の아트リエ TEL/FAX 045-811-6708
和歌部工(金曜) 担当: 寺田裕子045-881-7035